

CREATING A PROSPEROUS FUTURE TOGETHER WITH KYUSHU

中間期ミニディスクロージャー誌 兼 営業の中間ご報告

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

目次

- P1 トップメッセージ
- P3 持続可能な成長の実現のために
- P9 財務ハイライト
- P13 九州フィナンシャルグループのネットワーク
- P14 株主の皆様へ



九州フィナンシャルグループ



肥後銀行



鹿児島銀行



九州FG証券

豊かな未来のために。これからも、ともに。



お客様の
信頼と期待に応え、
最適かつ最良の
総合金融サービスを
提供します。

グループ 経営理念

地域とともに成長
し、活力あふれる
地域社会の実現に
積極的に
貢献します。

豊かな創造性と
自由闊達な
組織風土を育み、
より良い未来へ向かって
挑戦し続けます。

ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

九州フィナンシャルグループは、おかげさまで、本年10月に4周年を迎えました。これもひとえに、皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

環境認識

さて、2019年度上期の国内経済は、米中貿易摩擦などを背景に、海外経済に減速の動きが見られ、輸出が弱含むなか、輸入は横ばいで推移しました。一方、国内の雇用情勢が改善するなか、企業収益は高水準で推移し、個人消費の持ち直しに加え、公共投資の底堅さや設備投資も増加傾向にある等、総じてみると緩やかな回復が続いております。

しかしながら、地方銀行を取り巻く経営環境は、人口減少やマイナス金利政策の影響等、依然厳しい状況が続くとともに、FinTechの進展等に伴うデジタル技術革新への対応も求められていると認識しております。

会社概要（2019年9月末現在）



九州フィナンシャルグループ

本店所在地（登記上の住所） 鹿児島県鹿児島市金生町6番6号
本社所在地（本社機能） 熊本県熊本市中央区練兵町1番地
代 表 者 代表取締役会長 松山 澄寛（鹿児島銀行 取締役頭取）
代表取締役社長 笠原 慶久（肥後銀行 取締役頭取）
資 本 金 360億円
設 立 日 2015年10月1日
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
福岡証券取引所本則市場
証 券 コ ー ド 7180

2019年度における主な取り組み

当社グループは、2018年4月より、「第2次グループ中期経営計画（融合ステージ）」をスタートし、グループの企業価値向上・持続的成長に向け取り組んでおります。

2年目となる2019年度は、4月からグループ子会社である肥後銀行、鹿児島銀行において九州の地方銀行グループとしては初の取り組みとなる銀行本体での信託業務を開始し、同じくグループ子会社である九州FG証券とともに、「銀・証・信」が連携し、「ためる」・「ふやす」・「のこす」というお客様のライフサイクルに応じた金融サービスをワンストップで提供してまいります。

同じく4月に、鹿児島銀行が台北駐在員事務所を開設し、既存の両行上海駐在員事務所との連携を強化しながら、お客様の広域展開を支援してまいります。

また、7月には福岡市に当社の福岡ビルが開業いたしました。鹿児島銀行福岡支店、肥後銀行福岡支店福岡法人営業室、九州経済研究所等グループ企業が入居し、福岡における「営業・情報拠点機能」を強化してまいります。

加えて、グループ融合の促進ならびに連結収益強化に向けた収益多角化や新たな事業開発の推進を目的に、グループ内の広報・IR部門および主計部門を統合するとともに、「広報・IR部」、「人事・総務部」の新設、「グループ戦略部」を「事

業戦略部」に改称し、部内室として「事業開発室」を設置する等の組織改定を実施いたしました。引き続き、グループの生産性向上およびグループガバナンスの高度化に向け取り組んでまいります。

今後も、南九州を主要な経営基盤とする地域総合金融グループとして、首都圏・都市圏や海外と地域をつなぎ、「活力あふれる地域社会」をお客様や地域の皆様とともに創りあげていく「地域活力共創」グループへの進化に向け取り組んでまいります。

最後に

当社グループは、「お客様にとって九州トップの総合金融グループ」を目指し、お客様お一人おひとりに寄り添った総合金融サービスを提供していくとともに、地域の特性に即した持続可能な地域社会の実現に永続的に貢献してまいる所存でございます。

今後とも倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2019年12月吉日
代表取締役社長 笠原 慶久



肥後銀行

創 立 1925年7月25日
資 本 金 181億円
本店所在地 熊本県熊本市中央区練兵町1番地
店 舗 数 124か店
本支店118・出張所5・
海外駐在員事務所1
従 業 員 2,219人



鹿児島銀行

創 立 1879年10月6日
資 本 金 181億円
本店所在地 鹿児島県鹿児島市金生町6番6号
店 舗 数 153か店
本支店115・出張所18・
代理店18・
海外駐在員事務所2
従 業 員 2,226人



九州FG証券

創 立 2017年6月1日
資 本 金 30億円
本店所在地 熊本県熊本市中央区紺屋町1丁目13番地5
店 舗 数 4か店
本支店4
従 業 員 58人

持続可能な成長の実現のために～お客様・地域

私たち九州フィナンシャルグループは、グループ経営理念に掲げる「地域とともに成長し、活力あふれる地域社会の実現」に貢献すべく、サステナビリティ宣言を策定し、環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の観点から、お客様や地域のさまざまな課題解決に向けて取り組み、地域社会の持続的な発展に貢献するとともに、その取り組みを通じて、企業価値の向上に努めています。

地方の構造的課題

人口流出

少子高齢化

域内産業の縮小

グループ経営理念

1

お客様の信頼と期待に応え、最適かつ最良の総合金融サービスを提供します。

2

地域とともに成長し、活力あふれる地域社会の実現に積極的に貢献します。

3

豊かな創造性と自由闊達な組織風土を育み、より良い未来へ向かって挑戦し続けます。

サステナビリティ宣言

私たち九州フィナンシャルグループは、国連が定めた持続可能な開発目標であるSDGsの趣旨に賛同し、全役職員が主体的に取り組むことを宣言します。

①

持続可能な社会づくりへの取り組み

私たちは、環境にやさしい経営の実践を通じ、お客様や地域の皆様お一人おひとりが、将来にわたって幸せや満足を実感できる社会づくりに取り組みます

②

地域経済発展への取り組み

私たちは、地域総合金融グループの力を最大限に発揮し、お客様・地域の課題解決を支援することで、持続的な地域経済の発展に貢献します

③

普及・拡大への取り組み

私たちは、お客様や地域の皆様との対話を深め、地域全体が持続可能な社会となるように活動の輪を広げます

投融資に関する指針

1

私たち九州フィナンシャルグループは、持続可能な社会づくりに向け、お客様や地域の環境・社会問題解決につながる自律的で責任ある投融資を推進します。

2

投融資を行うにあたり、財務情報はもとより環境・社会に与える影響等の観点も重視し、適切な判断を行います。

とともに～

第2次グループ中期経営計画の基本戦略

基本戦略

戦略の柱

1

「地域活力共創」グループへの進化

- ① 地域総合金融機能の高度化
- ② 地域産業振興機能の発揮

2

グループ人材力の強化

- ① 人材マネジメントの高度化
- ② 人材開発の高度化

3

グループガバナンスの高度化

- ① 経営管理態勢の充実
- ② 生産性の向上

サステナビリティ活動

重要課題と対応するSDGs

環境にやさしい
地域づくり



全ての人を支える
地域の基盤づくり



全ての人が活躍する
職場・地域づくり



持続可能な
環境・社会に
貢献する人づくり、
地域に必要とされる
組織づくり



目指す姿

お客様にとって
九州トップの
総合金融グループ

私たちのSDGs・ESGへの具体的な取り組みについては、次のページからご紹介いたします。

環境 環境にやさしい地域づくり

九州フィナンシャルグループでは、地域の豊かな自然を守り、次の世代に確実に受け渡すため、事業活動やさまざまな社会貢献活動を通し、環境保全に努めています。

対応するSDGs



再生可能エネルギー
案件の融資実行額

56億円

事業活動を通じた環境対応

1 環境省「地域における ESG金融促進事業」支援先機関に採択

鹿児島銀行は、環境省の実施する「地域におけるESG金融促進事業」の支援先機関として採択されました。鹿児島県肝付町における「バイオマス発電による地域課題（畜産糞尿処理）解決とエネルギーの地産地消モデル構築事業」を通じて、ESG金融の確立を目指しています。

2 国立公園 オフィシャルパートナーシップ

環境省「国立公園満喫プロジェクト」で選定された8か所の国立公園のうち、熊本・鹿児島の国立公園エリアに対して、観光振興に向けた取り組みを実施してまいります。

鹿児島銀行は、「霧島錦江湾国立公園」における新たなアウトドアコンテンツ展開を目的として、上質なアウトドアサービス「グランピング」等のアウトドア事業を実施しました。今後も、地域資源の魅力向上および交流人口増加による地域経済活性化に努めてまいります。



環境配慮型の
定期預金残高

2,182億円

3 木質バイオマス発電所

当社グループは、CO₂の削減、地域雇用の創出など、当社グループのサステナビリティ全体構想に資する取り組みを実施しています。

2019年5月、鹿児島銀行を含む出資会社9社で設立した合同会社による木質バイオマス発電所「七ツ島バイオマス発電所」が完成いたしました。

東南アジアから鹿児島湾に運ばれるパーム椰子殻や木質ペレット、間伐材を用いて、環境にやさしいエネルギーを発電しています。



社会貢献活動を通じた環境対応

4 お客様の想いをつないで6年目 阿蘇グリーン定期預金寄付金贈呈

2019年10月、肥後銀行は、阿蘇の草原の維持と持続的な農業への取り組みを支援し、阿蘇地域を中心とする農業と地域の活性化を図っている、阿蘇世界農業遺産基金へ1,091万円を寄付しました。

この寄付は、「阿蘇グリーン定期預金」のお預け入れ総額に応じて、その0.005%相当額を寄付するものです。今回は、22,805名のお客様より、総額2,182億円のお預け入れをいただきました。



社会 全ての人を支える地域の基盤づくり

地域総合金融機能や地域産業振興機能を発揮することで、地域の長期的な成長を支援し、「活力あふれる地域社会」を、地域・お客様とともに創りあげていきます。

対応するSDGs



共同ファンド実績累計額*

89億円

復興支援関連融資
実行累計額*

2,469億円

2 キャッシュレス推進

当社グループでは、お客様の利便性向上、地域のキャッシュレス決済の普及を目的としてキャッシュレス推進を行っています。

貯まったポイントも電子マネー
に交換できる
“くまモンのICカード”

熊本県内のバス・市電・飲食店や小売店の加盟店等で相互利用できるプリペイド式の“くまモンのICカード”です。



キャッシュレスデビューは
“Pay どん” で!!

鹿児島銀行がつくったキャッシュレス決済サービスです。スマホを見せるだけで支払いが可能なので、お会計がとってもスムーズです。操作も簡単なので初めての人でも気軽にキャッシュレスを試せます。



※ 共同ファンドは2015年10月から2019年9月までの実績累計額です。復興支援関連融資は2016年4月から2019年9月までの実行累計額です。その他の項目については2019年9月末現在です。

地方創生

1 次世代ベンチャーの 発掘・育成に向けた支援

新しい一歩を踏み出そうとしている企業家や学生を支援するコンテストを行い、地域活性化およびベンチャーマインドあふれる人材の育成を目指します。

創造的復興に向けて肥後銀行が参画する熊本県次世代ベンチャー創出支援コンソーシアムは、次世代ベンチャーコンテスト「熊本テックブラングランプリ」を開催いたしました。

アグリ・バイオ等の自然共生型産業創出に向けて、次世代技術と情熱をもって地元から世界を変えようとする企業家の育成を支援してまいります。



3 “バンクオブザイヤー” 「ディールオブザイヤー」を受賞

地元企業の事業承継問題に取り組んだケースについて「後を引き継ぐ経営者不在に悩む企業の存続と発展に貢献した」と評価され、株式会社日本M&Aセンターが主催する第7回“バンクオブザイヤー”において、「ディールオブザイヤー」を肥後銀行が受賞いたしました。

今後さまざまな問題を抱える企業に対して積極的に支援していくとともに、地域の課題解決支援銀行として、雇用の維持や経済の活性化に努めてまいります。



社会 全ての人が活躍する職場・地域づくり

地域総合金融機能や地域産業振興機能を発揮することで、地域の長期的な成長を支援し、「活力あふれる地域社会」を、地域・お客様とともに創りあげていきます。

対応するSDGs



ダイバーシティ・ワークライフバランス

1 イクボス研修・意見交換会の実施 プラチナくるみんの取得

多様性を受け入れる意識・風土醸成の一環としてワークライフバランスをテーマとした研修や意見交換会を定期的に実施しています。

また、仕事と子育ての両立について高い水準で取り組んでいる「子育てサポート企業」として、

厚生労働省より「プラチナくるみん」の認定を受けています。全従業員が「働きやすさ」と「働きがい」を感じながら、能力を十分に発揮して活躍できる環境づくりに努めてまいります。



2 「キャリアチャレンジ制度」の新設

従業員の活躍支援の一環として、肥後銀行は、挑戦意欲の高い行員が、希望する研修や部署等へ自ら手をあげ、チャレンジを可能とする「キャリアチャレンジ制度」を新設しました。

本部各部、県外支店等への異動やグループ会社、民間企業等への研修派遣だけではなく、IT、美術などの得意分野や保有資格を活かした職務にチャレンジできる応募枠も設定しています。



3 九州アジア人財開発協同組合

鹿児島銀行が運営・資金支援を行っている「九州アジア人財開発協同組合」では、ベトナムより外国人実習生を5名受け入れ、県内企業へ派遣しています。日本で習得した技術を通じて開発途上国の発展を支える「人づくり」を進め、国際貢献を図っています。

地域貢献

4 金融教育

小学生向け金融教育の取り組みとして、毎年「お金の教室」を開催しています。2019年からは子供たちが「正しく生きる力」を養うことを目的にSDGsについて学ぶカリキュラムを新設しています。

また、鹿児島銀行では、知的障がいを持つ子ども達へ金融教育の授業を実施しました。卒業前（就職前）の子ども達が正しい金融知識を持ち、社会人として自立するための支援を行います。



5 地域スポーツ振興

肥後銀行は、「2019 女子ハンドボール世界選手権大会」の大会公式スポンサーとして、スポーツによる地域活性化に貢献しています。

訪日外国人の増加や、インバウンド需要の高まり等を踏まえ、お客様ニーズの多様性に幅広く対応する観点から、外国送金取扱店への自動翻訳機設置ならびにATM取引画面への英語表示のサービス提供を開始しました。



ガバナンス 地域に必要とされる組織づくり

法令等を遵守し、適切な経営の意思決定と業務執行を図るとともに、経営の透明性、公開性および健全性を高め、コーポレートガバナンスの充実に努めております。

対応するSDGs

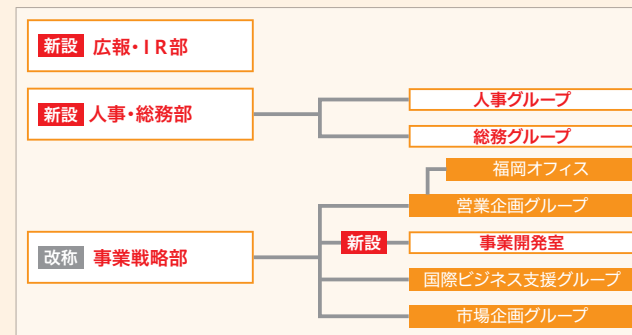


組織力強化

1 組織・委員会の改定について

当社グループの融合を促進し、経営管理機能を強化するとともに、連結収益強化に向けた収益多角化や新たな事業開発を推進するため、グループ内の広報・IR部門と主計部門の統合や、「事業開発室」の新設など組織改定を行いました。

【主な新設部署】



また、組織横断的な課題への対応を強化するため、「組織・機能の統合」、「新規事業の開発」、「デジタル・イノベーション」の協議を進める委員会を新設するなど、委員会体制を見直しました。

3 JR九州フィナンシャルマネジメント株式会社の株式取得

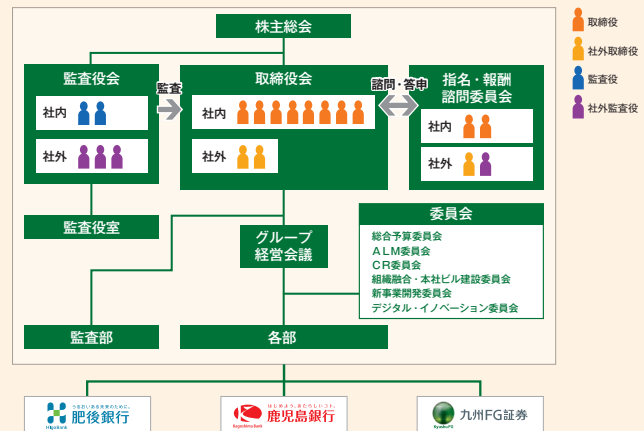
当社子会社である肥後銀行は、JR九州フィナンシャルマネジメント株式会社株式の90%を取得し、JR九州FGリース株式会社に商号を変更しました。

株式取得により、中期経営計画における戦略の柱である「地域総合金融機能」および「地域産業振興機能」の更なる強化に取り組み、より充実したソリューションをお客様に提供するとともに当社グループの経営基盤強化と企業価値の更なる向上を図ってまいります。

2 社外役員による監督機能の強化

当社の経営陣・監査役の指名・報酬に係る事項について、代表取締役と社外役員との意見交換等を通じ、意思決定プロセスの透明性・公正性を高め、コーポレートガバナンスの強化に資することを目的に、取締役会の諮問機関として指名・報酬諮問委員会を設置しています。

【コーポレートガバナンスの概略図】



JR九州FGリース



九州フィナンシャルグループ

親会社株主に帰属する
中間純利益
11,162 百万円

経常利益
16,264 百万円

営業の概況

九州フィナンシャルグループ (KFG) 連結 (単位：百万円)

科 目	2019年9月期	前年同期比	2018年9月期
経常収益	84,545	75	84,469
経常利益	16,264	△1,602	17,866
親会社株主に帰属する中間純利益	11,162	△949	12,112
自己資本比率	11.29%	△0.28%	11.57%

2行単体合算 (肥後銀行・鹿児島銀行) (単位：百万円)

科 目	2行合算		
	2019年9月期	前年同期比	2018年9月期
経常収益	69,926	138	69,788
業務粗利益	54,628	1,556	53,072
うち資金利益	44,915	△1,889	46,804
経費(除く臨時処理分)	35,095	382	34,713
コア業務純益	15,590	△3,102	18,693
業務純益	19,942	1,989	17,952
経常利益	19,827	1,147	18,680
中間純利益	13,999	868	13,130

(単位：億円)

総預金残高	87,701	1,555	86,145
貸出金残高	72,075	3,943	68,131
預り資産残高	11,583	211	11,372

(注) 総預金は、預金と譲渡性預金の合算であります。

POINT

2019年9月期の業績は、経常収益は国債等債券売却益の増加によるその他業務収益の増加等により、前年同期比75百万円増加し845億円となりました。

一方、経常費用が株式等償却の増加によるその他経常費用の増加等により、前年同期比16億円増加したことから、経常利益は前年同期比16億円減少し162億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比9億円減少し111億円となりました。

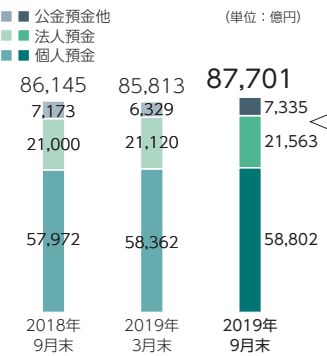
POINT

業務粗利益は、資金利益が減少したものの、国債等債券損益の改善にともないその他業務利益が増加したこと等により、前年同期比15億円増加しました。

業務純益は、経費は増加しましたが、業務粗利益が増加したことに加え、一般貸倒引当金繰入額が戻入益に転じた結果、前年同期比19億円増加しました。

経常利益は、臨時損益が減少したものの、業務純益が増加したことなどから、前年同期比11億円増加し198億円、中間純利益は前年同期比8億円増加し139億円となりました。

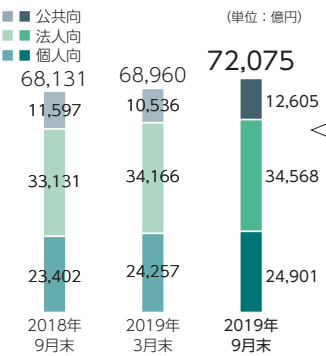
総預金の状況 (2行単体合算)



POINT

総預金は、肥後銀行および鹿児島銀行ともに増加しており、2行合算で、2019年3月末比1,888億円増加(増加率2.2%)し中間期末残高は8兆7,701億円となりました。

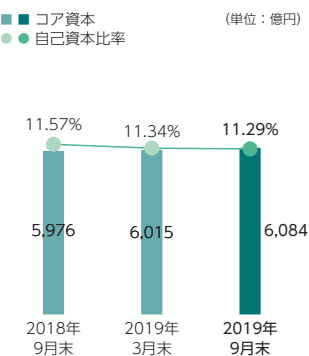
貸出金の状況 (2行単体合算)



POINT

貸出金は、肥後銀行および鹿児島銀行ともに全セクターで増加しております。2行合算で、2019年3月末比3,114億円増加(増加率4.5%)し中間期末残高は7兆2,075億円となりました。

自己資本比率の状況 (KFG連結)



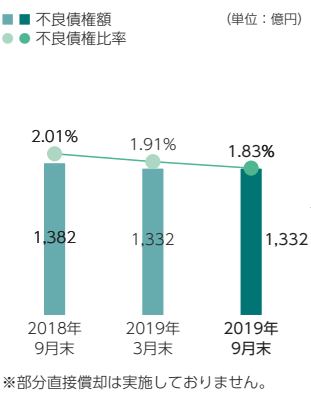
POINT

バーゼルⅢに基づく国内基準により自己資本比率を算出した結果、肥後銀行で10.64%、鹿児島銀行で10.47%、KFG連結ベースで11.29%となりました。

比率が低下した理由は、貸出金の増加にともない分母のリスク・アセット等が増加したことによるものです。

(KFG連結ベースの自己資本比率は、経営統合時の会計処理において、鹿児島銀行の有価証券評価差額金等が「負ののれん発生益」を通じて自己資本に取り込まれたため両行の自己資本比率より上昇しております。)

金融再生法開示債権の状況 (2行単体合算)



POINT

不良債権額は、肥後銀行で547億円、鹿児島銀行で785億円、2行合算で2019年3月末比ほぼ横ばいの1,332億円となりました。

不良債権比率は、肥後銀行で1.49%、鹿児島銀行で2.18%、2行合算で2019年3月末比0.08%改善し、1.83%となりました。

分子の不良債権額の減少、分母の総与信額増加の影響により、比率は改善しております。

長期格付 (2019年9月末現在)



九州フィナンシャルグループ

(株) 格付投資情報センター (R&I)

A+

(株) 格付投資情報センター (R&I)



肥後銀行

A+



鹿児島銀行

A+

S&Pグローバル・レーティング・ジャパン (株)

A-

A-



経常利益 11,442 百万円
中間純利益 7,958 百万円

損益の状況 (単位：百万円)

科 目	2019年9月期	前年同期比	2018年9月期
経常収益	37,907	△245	38,152
業務粗利益	27,372	644	26,727
経費	17,727	11	17,715
コア業務純益	7,122	△1,871	8,994
業務純益	10,138	1,046	9,091
経常利益	11,442	323	11,119
中間純利益	7,958	233	7,724

POINT

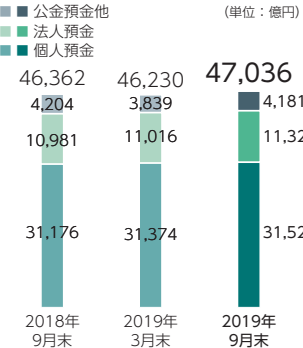
肥後銀行では、経常収益は2期ぶりの減収、経常利益および中間純利益は2期ぶりの増益となりました。

業務粗利益は、資金利益、役務取引等利益は減少しましたが、国債等債券損益の増加によりその他業務利益が増加したことなどから、前年同期比6億円増加しました。

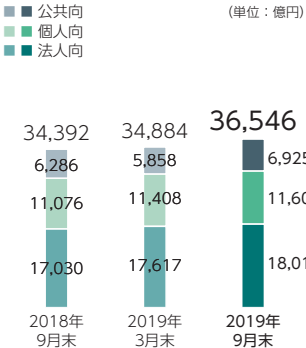
業務純益は、業務粗利益の増加に加え、一般貸倒引当金繰入額が減少（戻入益が増加）したことなどから、前年同期比10億円増加しました。

経常利益は、株式等関係損益の減少等により臨時損益が7億円減少しましたが、業務純益が増加したことなどから、前年同期比3億円増加し114億円、中間純利益は、前年同期比2億円増加し79億円となりました。

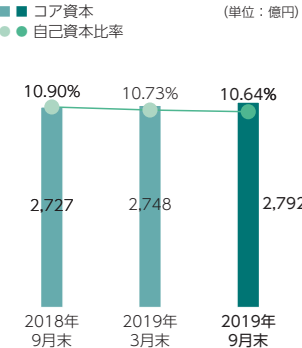
総預金の状況



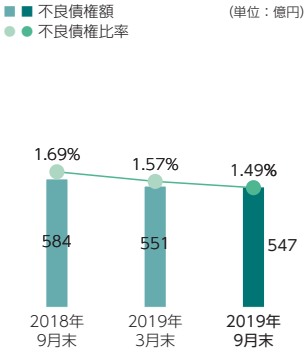
貸出金の状況



自己資本比率の状況



金融再生法開示債権の状況



※部分直接償却は実施しておりません。



経常利益 8,385 百万円
中間純利益 6,040 百万円

損益の状況 (単位：百万円)

科 目	2019年9月期	前年同期比	2018年9月期
経常収益	32,019	383	31,635
業務粗利益	27,255	911	26,344
経費	17,368	370	16,997
コア業務純益	8,468	△1,230	9,698
業務純益	9,804	943	8,861
経常利益	8,385	824	7,561
中間純利益	6,040	635	5,405

POINT

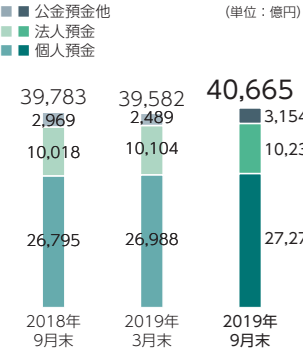
鹿児島銀行では、経常収益は3期ぶりの増収、経常利益および中間純利益は2期ぶりの増益となりました。

業務粗利益は、国債等債券損益の改善によるその他業務利益の増加などから前年同期比9億円増加しました。

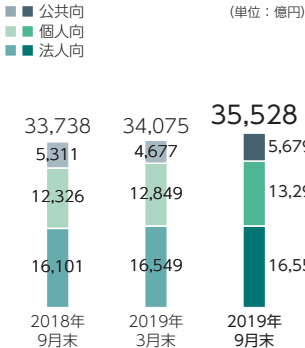
業務純益は、業務粗利益の増加に加え一般貸倒引当金繰入額が減少したことなどから、前年同期比9億円増加しました。

経常利益は、株式等関係損益の減少等により臨時損益が1億円減少したものの業務純益が増加したことなどから、前年同期比8億円増加し83億円、中間純利益は、前年同期比6億円増加し60億円となりました。

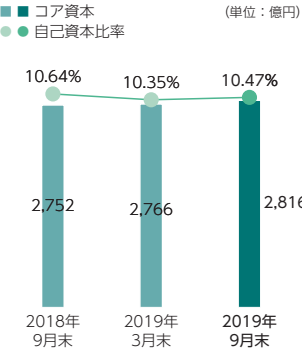
総預金の状況



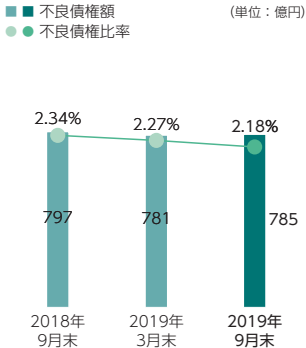
貸出金の状況



自己資本比率の状況



金融再生法開示債権の状況



※部分直接償却は実施しておりません。



九州FG証券

Kyushu FG

損益の状況

(単位：百万円)

科 目	2019年9月期	前年同期比	2018年9月期
営業収益	402	△98	501
経常利益	△160	△132	△28
中間純利益	△165	△135	△29

POINT

営業収益：手数料収入は増加しましたが、トレーディング損益等の減少により、前年同期比98百万円減少

経常利益：前年同期比1億32百万円減少

中間純利益：前年同期比1億35百万円減少
口座数、預り資産残高は順調に増加

九州フィナンシャルグループのネットワーク (2019年9月末現在)

福岡

肥後銀行 6か店

鹿児島銀行 1か店

長崎

肥後銀行 1か店

熊本

肥後銀行 111か店

鹿児島銀行 1か店

九州FG証券 2か店

沖縄

鹿児島銀行 2か店

国内 東京・大阪

肥後銀行 2か店

鹿児島銀行 2か店

海外 上海

肥後銀行 1拠点

鹿児島銀行 1拠点

台北

鹿児島銀行 1拠点

大分

肥後銀行 1か店

宮崎

鹿児島銀行 9か店

肥後銀行 1か店

九州FG証券 1か店

鹿児島

鹿児島銀行 136か店(ネット支店含む)

肥後銀行 1か店

九州FG証券 1か店

New Open!!



2019年7月
九州フィナンシャルグループ
福岡ビル
オープン

New Open!!



2019年4月
鹿児島銀行
台北駐在員事務所
オープン

株主の皆様へ

株式数および株主数 (2019年9月末現在)

発行済株式総数 (普通株式) 463,375,978株

株主数 17,879名

2020年3月期の 中間配当について

1株あたり配当金

普通株式
第2四半期末
6円00銭

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当基準日 3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)

定時株主総会 毎事業年度が終了した日の翌日から3か月以内に開催

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

公告方法 電子公告 (<https://www.kyushu-fg.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、
熊本日日新聞および南日本新聞ならびに日本経済新聞に掲載いたします。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵 送 物 送 付 先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんので、ご了承ください。
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)

※ 特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

上場株式配当等の 支払に関する 通知書について

支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、確定申告の添付書類としてご使用ください。
なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。



銀行

銀行・証券・信託の連携強化を通じて、
お客様へ総合的な金融サービスをワンストップでご提供いたします。

ためる

- 普通預金
- 定期預金
- 貯蓄預金
- 投資性金融商品

ふやす

- 投資信託
- 外貨預金
- 国債
- 債券
- 株式
- 仕組債

そなえる

- 保険商品
- 確定拠出年金
- 相続関連業務
- 信託業務
- 高齢者見守りサービス

証券

信託

ホームページのご案内

最新のIR情報やニュースリリース等は
ホームページからご覧いただけます。

九州フィナンシャルグループ 🔍

<https://www.kyushu-fg.co.jp/>

